

目標	目標3 制度の狭間をつくらない福祉支援と権利擁護の推進
施策	(プルダウンで選択)
取組と目標を結ぶビジョン	(プルダウンで選択)
取組名称	
評価参画者	<input type="checkbox"/> 市 () 課 <input type="checkbox"/> 社会福祉法人 () <input type="checkbox"/> 民間事業者 ()
当年度に取り組みたいこと	
進捗の段階 (評価の視点)	<input type="checkbox"/> 制度の狭間のリスクを早期に把握する (高齢・障害・こども・生活困窮など制度別の支援において、本人(家族)にとって「制度が届きにくい点」「支援が切れそうな点」を早めに把握できる体制となっている) <input type="checkbox"/> 制度・サービス・地域資源につなげる (ケアラー支援、ひきこもり支援、再犯防止支援など、支援を必要としているが支援が届きにくい困りごとに対し、本人(家族)の状況に合わせて具体的な選択肢を示し、必要に応じて伴走支援をすることができている。制度につながりにくい場合でも地域資源を提案しており、不足があれば課題として共有している) <input type="checkbox"/> 権利擁護の視点をもった支援を行う (虐待・差別・消費者被害・経済的搾取等の権利侵害リスクや、意思決定の困難の兆候を早期に捉え、本人の意思を確認しながら必要な支援につないでいる。あわせて、成年後見制度の利用促進や親亡き後を見据えた支援など、継続的・長期的な視点で支援できている) <input type="checkbox"/> 支援の途切れを防いでフォローする (つないだ後の動きを双方で確認・共有し合い、支援の空白が生じないようにしている。空白が生じそうな場合は再調整や代替となる支援の検討を行っている) <input type="checkbox"/> 領域横断の連携・協議を活用する (複数課題が絡む場合や、制度間のつながりが必要な場合などに、関係者と連携し情報共有・役割分担・次の対応を整理している。必要に応じて多機関連携・会議体を活用して協議している) <input type="checkbox"/> 福祉を支える人材の育成・確保が図れている (将来の福祉サービスを支える専門人材の育成・確保に向けた取組がすすんでいる。福祉や介護に関わる人たちが互いに連携できる環境づくりがすすんでいる)
実施状況 (事例なども交えて要点を記載)	
課題・次年度に取り組み 組んで みたいこと	

※2年目以降の「当年度に取り組みたいこと」には、前年度の「課題・次年度に取り組み組んでみたいこと」を転記してください。